

春夏秋冬さんの体験記第4話です。

保育所入所前（1歳8ヶ月頃）まで：

最初は抗うつ薬・抗不安薬・漢方で処方してもらっていた。

その後睡眠薬も加えた治療を開始。

体調は徐々に回復，子どもが10ヶ月ごろの5月の連休で自宅へ帰宅する。

最初から実家の母が片道20分をかけて車で家事の手伝いに。

一日2回来てもらいながら私は娘の世話をしていけるようになる。

保育所の開放などものぞけるときもあり，

いずれは仕事復帰して保育所のお世話になるので…と

1歳児クラス（年度中に2歳になる子どものクラス）から近くの公立保育所にお世話になる手続きをする。

子どもはやや乾燥肌ながらも皮膚科に通院しながらその他は元気。

保育所入所までに必要な予防注射は任意もあわせてすべて終了できる。

それで保育所入所も無事決まり，

家族でわくわくしながらも実家の助けを受けながらそれなりに穏やかに毎日過ごしていた。

保育所入所から退所（2歳4ヶ月頃）まで：

保育所に入所して慣らし保育。

何とか終了したら，娘は風邪を繰り返しひくようになる。

耳鼻科と小児科のお世話になり，5月の連休後は肺炎がわかる。

入院はしなくてはいよいよといわれるが娘はしんどくて毎日ぐずり，

車でのドライブが続き，治るまでは車の中で寝ることもあった。

やっと落ちつきだしたのが6月頃から。

私のご飯作りも時々できるまでに，

でも実家の母がきてくれないと落ちつかず一日一回夕食時には一時間から二時間きてもらっていた。

マイペースな主人とはほとんど会話がなかった気がする。

7月の娘の誕生日には互いの実家の両親を呼んでパーティーをした。

その後私の調子は下がり気味。娘も8月に入って調子を崩す。

8月のお盆前には肺炎で5日間入院，退院もつかの間，今度は川崎病にかかり一ヶ月入院する。

付き添っている私は満足に眠ることができなかった。

しんどい娘に付き添って夜中も起きなくてはいけなくなり、睡眠薬も飲めたり飲めなかったり。

でも気力で乗り切ったのだと思う。

4月から私は新しい精神科の医師へ変わったが合わず、

8月から新しい先生（今の主治医）に巡り会い、

治療はしていたが娘の入院中、川崎病にかかったときに私の子育てが悪かったと偏見に思う方もいて、

とにかく心身ともにしんどかった。

最終的には理解してもらえたが、そのこともあり、

退院後娘は後遺症もなく今は年一回のフォローで落ちついているが、

私が自宅で娘の世話をすることが限界となった。

娘も保育所にほとんどいけなかったのでしんどくなって保育所では全くしゃべらなくなった。

しんどそうな娘と私、

このままでは…とまた実家へ帰ることになり。

娘は保育所を一時退所になった。

<おしまい>